

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

## ◆西山語録①「我々は問題を解決させる手順と方法を持っている」

ほとんどの問題は、解決するノウハウを我々は持っている。もしも、自分が抱えている問題を解決させることが出来ないのであれば、それは解決手順か、解決させるための各ステップの技術の使い方が不味いということになる。

いつまでたっても、問題を解決させることが出来ないということは、手順や方法のノウハウを身に付ける体質がないということかもしれない。

## ◆西山語録②「新時代に求められる4つのパワー」

### ①考働力

まず「考働＝知恵を出して行動すること」が重要である。ただ単に知恵を出すだけ、行動するだけではビジネスは成り立たない。

### ②構築力

素晴らしい考働のためにはセンスある構築力が必要である。実際にビジネス化できるかは別として、自分で構築する力は重要な要素である。

### ③判断力

判断には、「開始」と「終了」の2種類がある。前者は比較的容易だが、後者は日本人は下手である。「終了」の判断はスピードが重要である。色々なことを冷静に検討し、意図した上で決断することが「判断」である。

④悪い部分を補完し、良い部分を最大限集中して活用する力

## ◆日本のモノづくりの継承、ベトナム大学との連携で始動中！

日本のモノづくりは、長い歴史を持ち、高い品質と技術力で世界中から高い評価を受けています。時代の変化と共に、その技術やノウハウを次世代に継承することがますます重要となっている一方で、継承する人材不足という問題に直面しています。その中で、海外人財の活躍が期待されています。



海外人財に日本のモノづくり技術を「ベトナムの交通運輸大学との連携会議にて」継承するためには、大学での教育が鍵になります。BSOが取り組んでいるベトナム高度人財の育成ではベトナムの大学と連携し、日本の産業文化やスキルの習得に取り組んでいます。また日本企業でのインターンシップを通して、習得だけでなく“体得”を目指します。

## ◆IoT研究会 工場管理の無人化に取り組んでいます

IOT研究会では無人化の工場づくりの実現に向け、現在、「監視作業」のケーススタディに取り組んでいます。今回は現地研究会を実施しました。現地で抽出された新たな気づきや課題と共に、ライン上のエラーを自動で捉え、分析する方法、また分析結果に基づいて無人で改善する方法を模索していきます。今後の例会では出来るだけ現地開催の頻度を増やしていくことを考えています。従来の人手による監視の必要性を軽減し、生産性の向上を目指していきます。

## ◆ChatGPT研究会スタートしました！

7月26日(水)第1回ChatGPT研究会を開催しました。既にChatGPTを使ったことがある方ばかりで、初回ではChatGPTの基本的な知識の共有だけでなく、各自の活用事例についてのディスカッションも行われました。

第2回ではChatGPTは更にどういった活用の仕方ができるのか、活用するためのノウハウを深掘りしていく予定です。

当研究会では、途中からのご参加も歓迎しております。ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

## ◆西山語録③「まず与えられた仕事で期待に応える」

期待に応えるには、「答える」と「応える」とがある。前者は、具体的な課題に求められている成果を出す事である。後者は、期待されている連携の考働ができることである。この両方ができないと、期待に応えることにはならない。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ